

令和元年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、令和元年6月21日～7月5日にかけて実施した「令和元年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らしや居留意向について	4
2. 越谷市への愛着度と魅力発信について	5
3. 越谷市の伝統的手工芸品について	6
4. 市内の公共交通について	7
5. 景観（風景）について	8
6. 地域医療体制について	9
7. 健康保険が行う保健事業について	10
8. 人権全般に関する意識について	11
9. 男女共同参画について	12
10. 生涯学習活動について	14
11. スポーツ・レクリエーションの実施状況について	15
12. 観光農園について	16
13. 自治基本条例について	17
14. 成人式について	18
15. 広報について	19
16. 越谷市の施策について	20

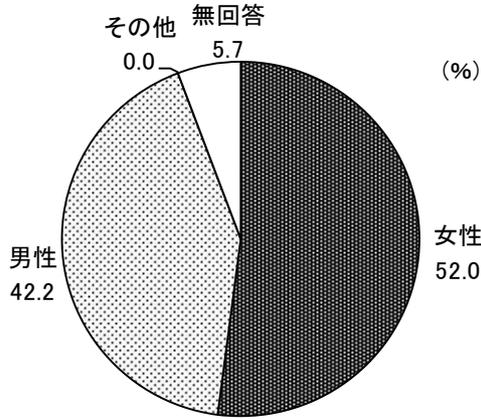
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域 : 越谷市全域
- ◆ 調査対象 : 市内在住の18歳以上の男女5,000人
- ◆ 抽出方法 : 住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法 : 郵送法（郵送配布・郵送回収）
- ◆ 調査期間 : 令和元年6月21日～令和元年7月5日
- ◆ 回収結果 : 有効回収数2,457人 回収率49.14%

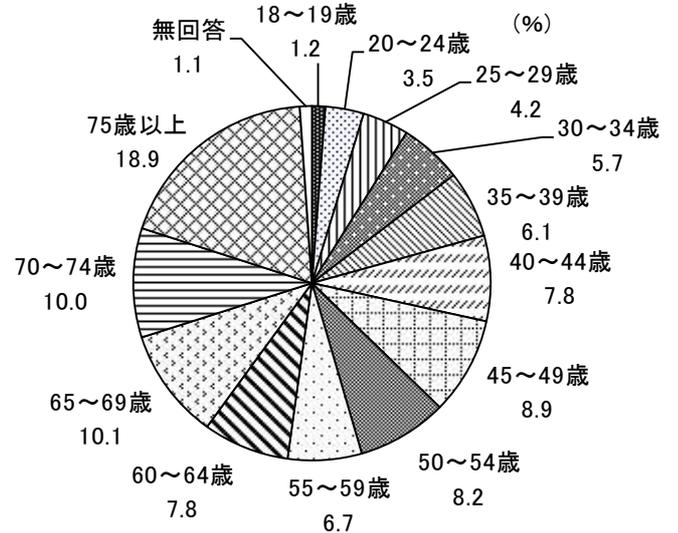
II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

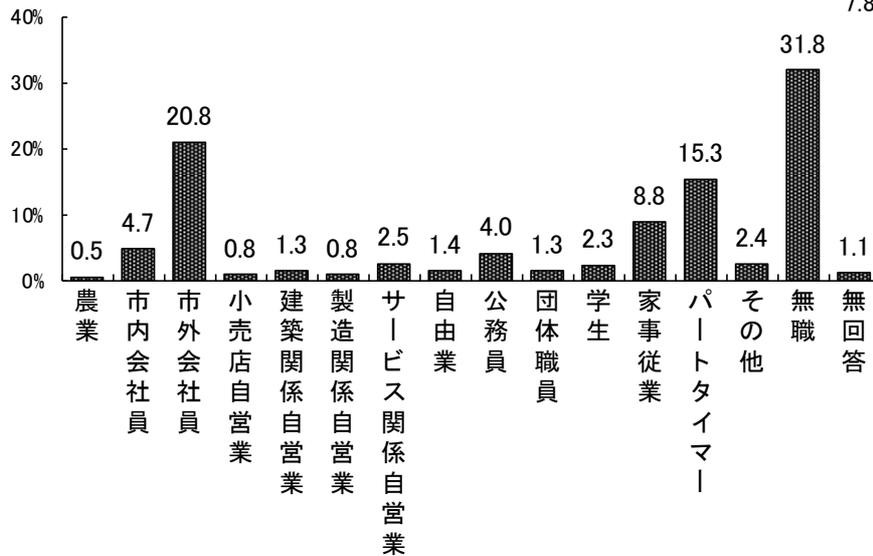
◆性別 (n=2,457)



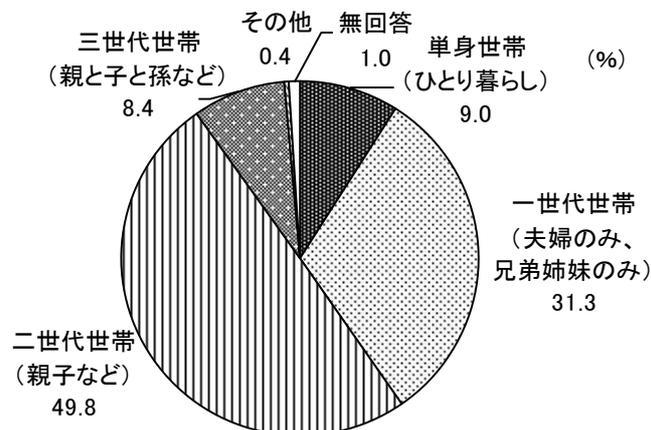
◆年代 (n=2,457)



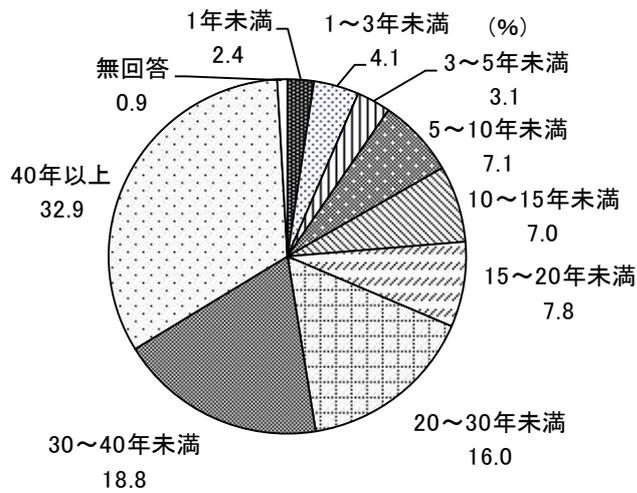
◆職業 (n=2,457)



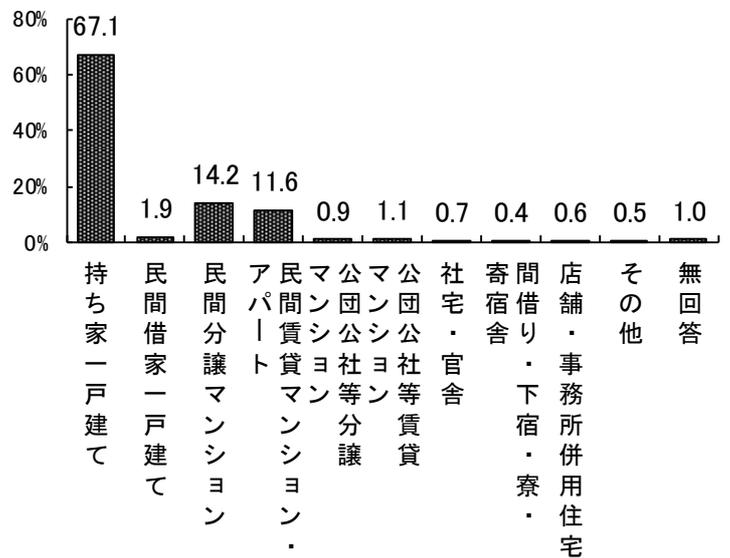
◆世帯の状況 (n=2,457)



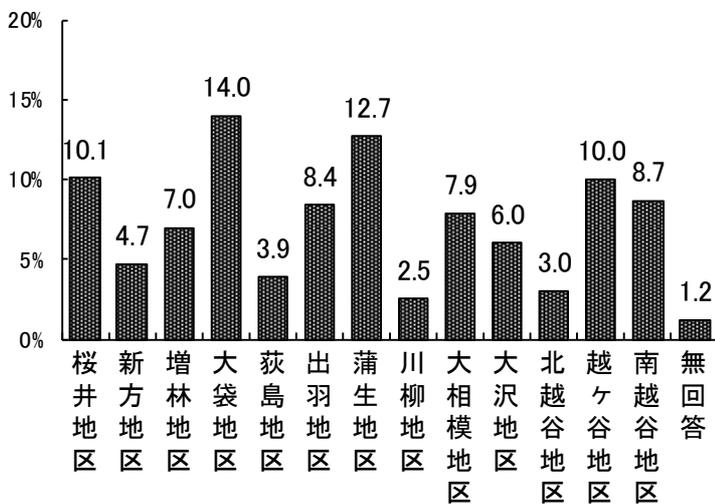
◆居住年数 (n=2,457)



◆居住形態 (n=2,457)



◆居住地区 (n=2,457)



Ⅲ. 調査結果

1. 暮らしや居住意向について

- 暮らしの中で大切にしていることは「家族とのふれあい」が約7割で最も多い。
- 現在の暮らし向きには『満足』（「十分満足している」+「十分とはいえないが、一応満足している」）が6割弱。
- 『定住意向』（「ずっと住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」）は8割弱。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」+「引っ越したい」）の主な理由は、「交通の便が悪いので」が1割半ばで最も多い。
- 越谷市に住み暮らすことを勧めたいかは『勧めたい』（「大いに勧めたい」+「勧めたい」+「どちらかという勧めたい」）が6割強。

図 1-1 暮らしの中で大切にしていること
(上位 5 位) (n=2,457)

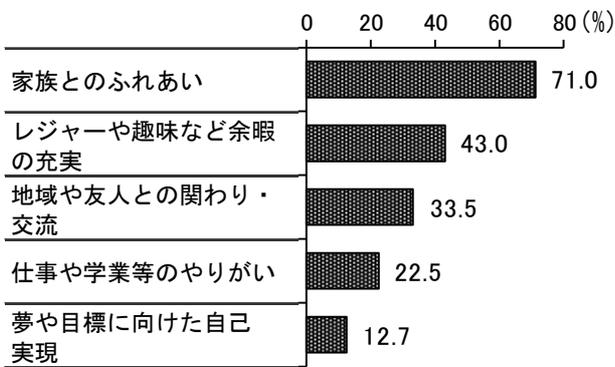


図 1-2 現在の暮らし向き (n=2,457)

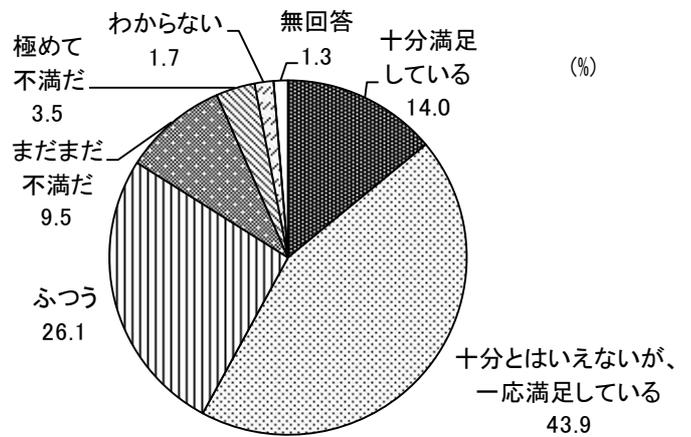


図 1-3 居住意向 (n=2,457)

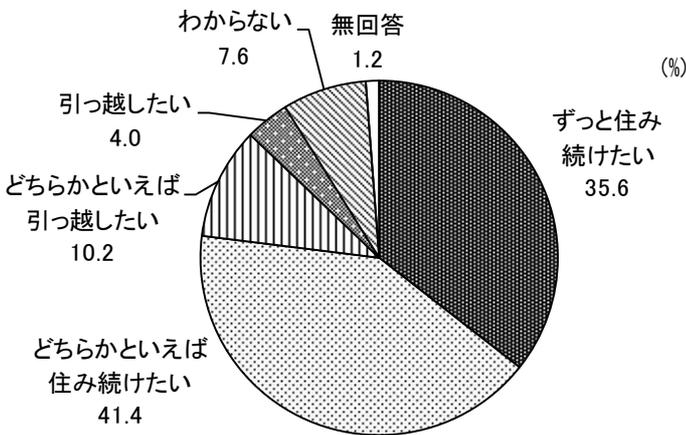


図 1-4 転居意向の理由 (上位 5 位) (n=349)

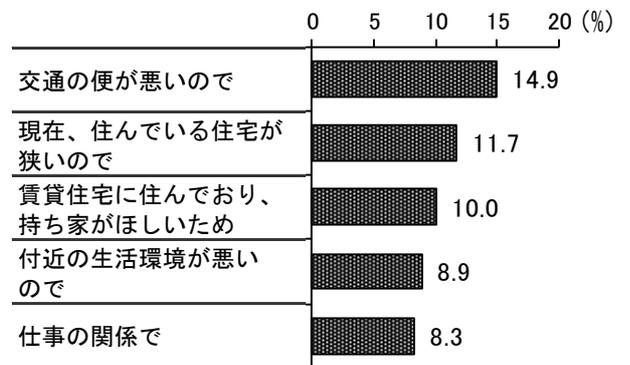
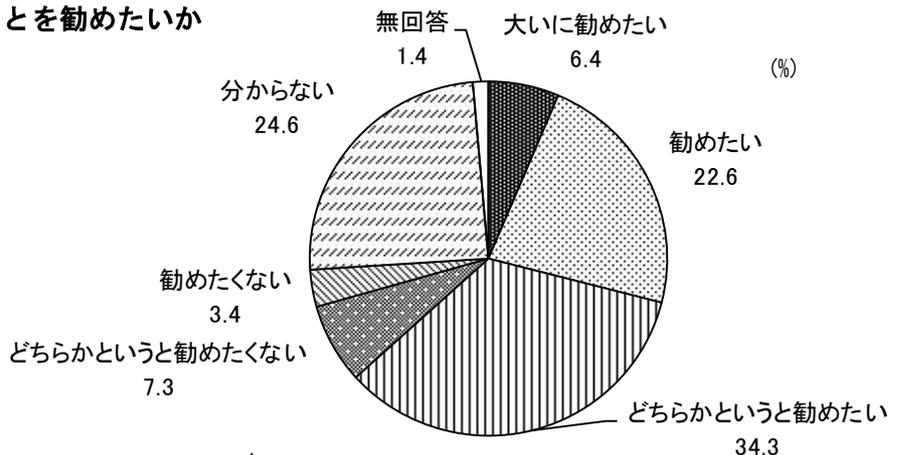


図 1-5 越谷市に住み暮らすことを勧めたいか
(n=2,457)



2. 越谷市への愛着度と魅力発信について

- 越谷市への愛着は『愛着がある』（「とても愛着がある」+「愛着がある」+「やや愛着がある」）が7割強。
- 愛着がある理由は「交通の利便性がよく、都内等に近い」が7割強で最も多い。
- 越谷市の誇れるものは「イオンレイクタウン」が6割半ばで最も多い。

図 2-1 越谷市への愛着 (n=2,457)

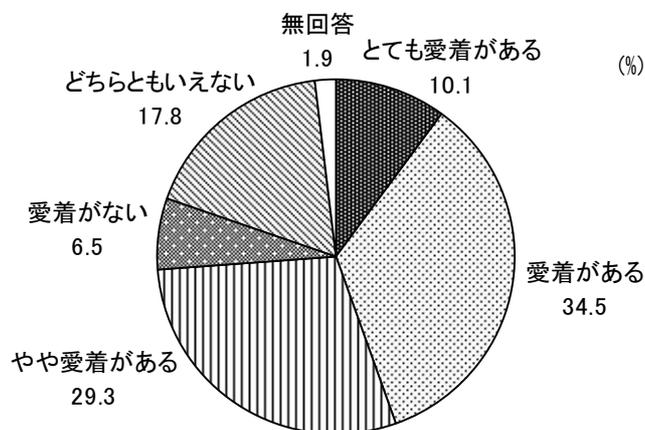


図 2-2 愛着がある理由 (上位 5 位) (n=1,815)

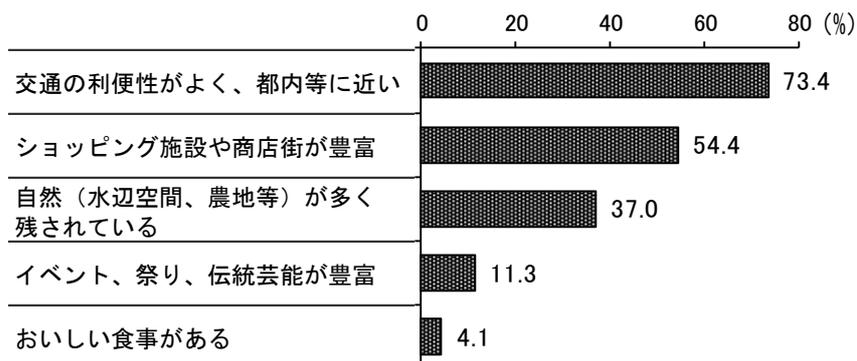
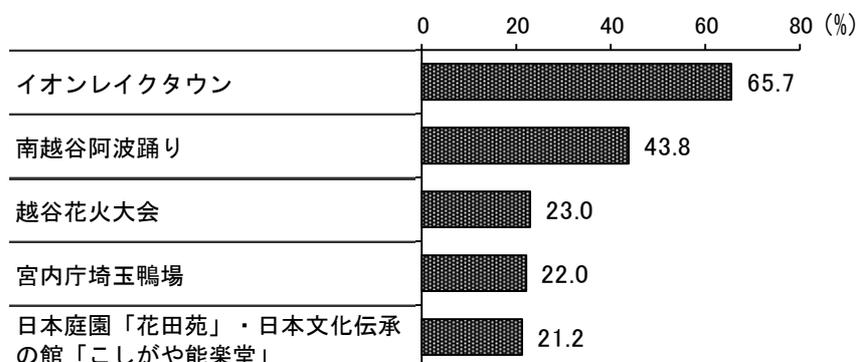


図 2-3 越谷市の誇れるもの (上位 5 位) (n=2,457)



3. 越谷市の伝統的手工芸品について

- 越谷市の伝統的手工芸品の認知度について、『知っている』（「買ったことがある」＋「知っているが買ったことはない」）は「越谷だるま」が7割強で最も多い。
- 「買ったことがある」は「越谷手焼きせんべい」が4割強で最も多い。
- 越谷市の伝統的手工芸品に期待する取組みは「技術の継承（後継者の育成）」が3割強で最も多い。

図 3-1 越谷市の伝統的手工芸品の認知度（n=2,457）

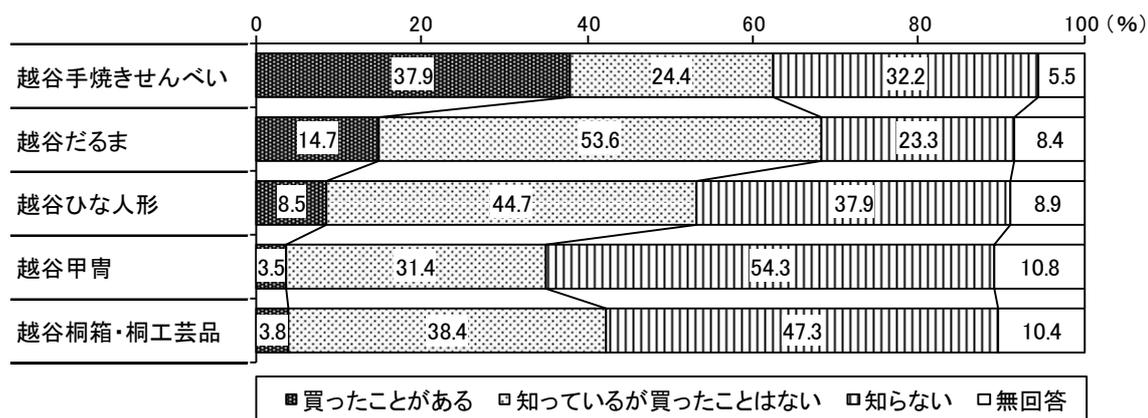
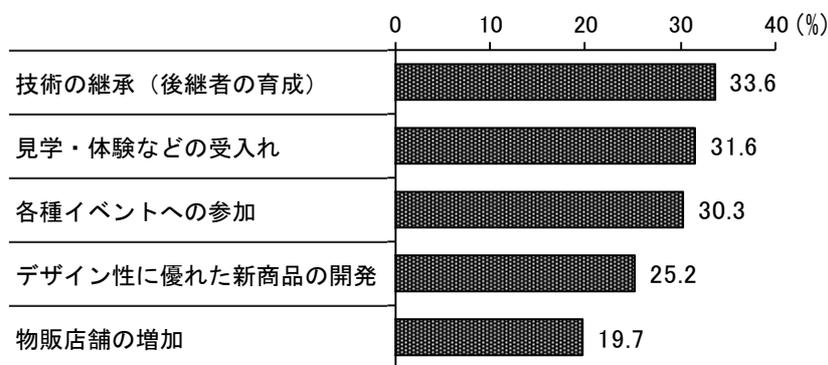


図 3-2 越谷市の伝統的手工芸品に期待する取組み（上位 5 位）（n=2,457）



4. 市内の公共交通について

- 公共交通の利用有無について、鉄道は「常に利用」が3割強、バスは「全く利用しない」が3割半ば、タクシーは「全く利用しない」と「たまに利用」が約4割。
- 公共交通の満足度で、『満足』（「とても満足している」+「やや満足している」）は鉄道が8割半ば、バスが5割強、タクシーが約6割。

図 4-1 公共交通の利用有無 (n=2,457)

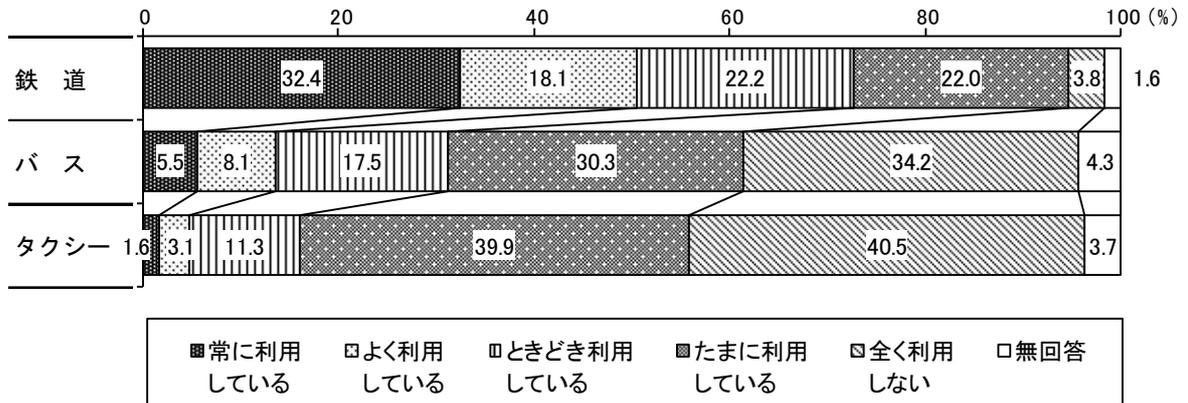
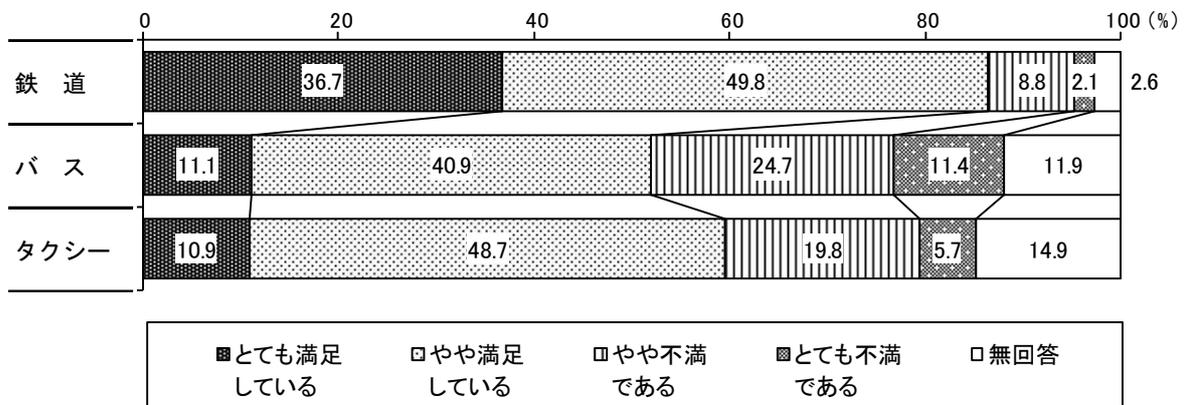


図 4-2 公共交通の満足度 (n=2,457)



5. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は『満足』（「満足している」+「十分とはいえないが、概ね満足している」）が6割半ば。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むものは「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が5割弱で最も多い。

図 5-1 景観（風景）の満足度 (n=2,457)

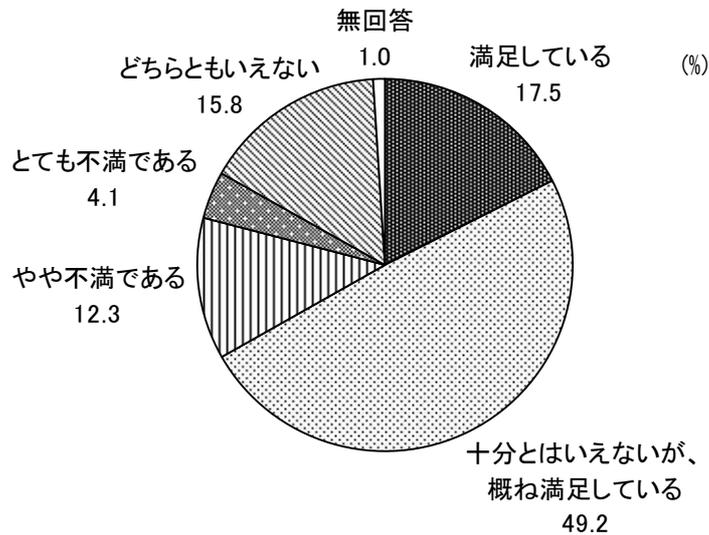
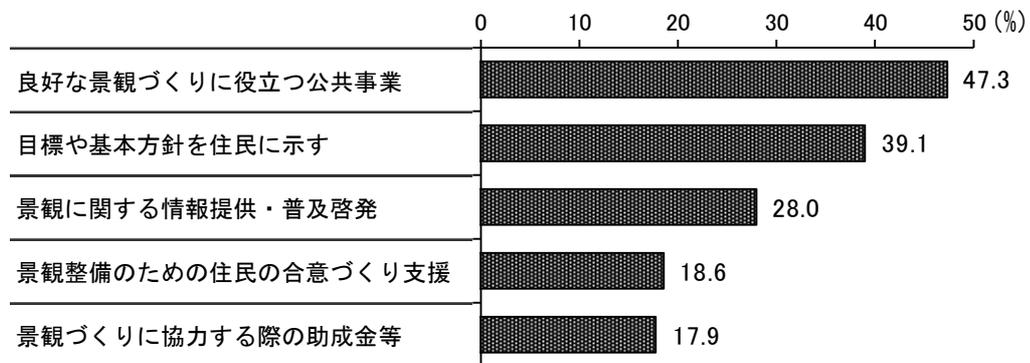


図 5-2 行政に望むこと（上位 5 位） (n=2,457)



6. 地域医療体制について

- 地域医療体制の認知度は「越谷市夜間急患診療所」が約8割、「休日当番医制度」が7割半ば、「埼玉県救急電話相談（#7119）」が5割。
- 医療機関の情報の入手方法は「インターネットで調べる（越谷市・埼玉県公式ホームページを除く）」が約5割で最も多い。
- 夜間や休日の急病の対応は「可能な限り翌日まで我慢する」が5割半ばで最も多い。

図 6-1 地域医療体制の認知度 (n=2,457)

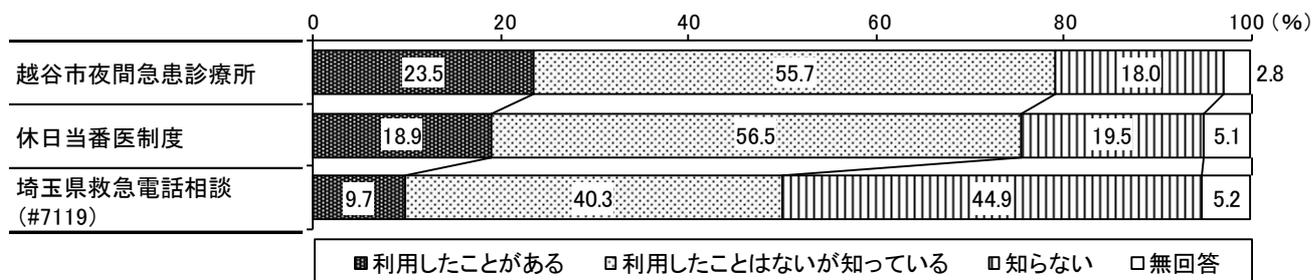


図 6-2 医療機関の情報の入手方法 (上位 5 位) (n=2,457)

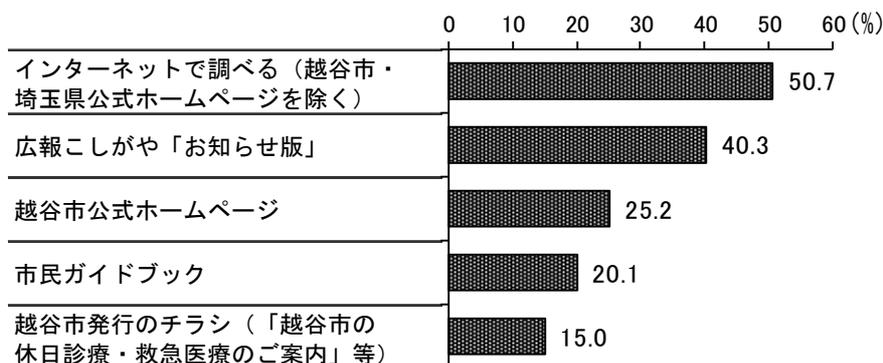
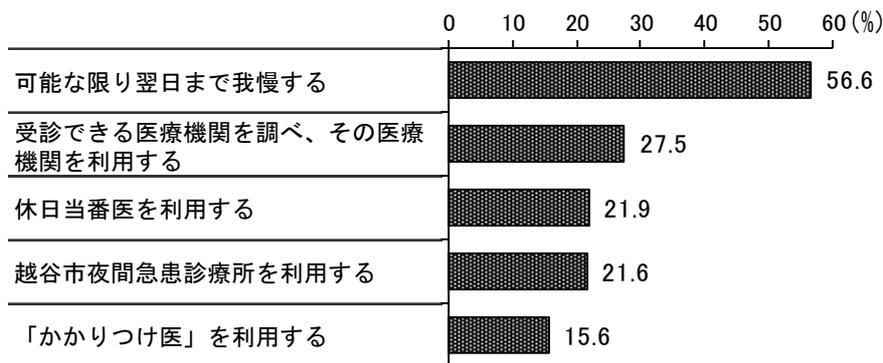


図 6-3 夜間や休日の急病の対応 (上位 5 位) (n=2,457)



7. 健康保険が行う保健事業について

- 加入保険は「被用者保険」が約4割で最も多い。
- 健康診査受診の有無は「受けた」が約5割、「受けていない」が4割半ば。
- 健康診査を受けない理由は「既に医療機関に通院していたため」が約5割で最も多い。
- 必要と思う医療保険が行う保健事業は「人間ドック検診料の補助」が約7割で最も多い。

図 7-1 加入保険 (n=2,457)

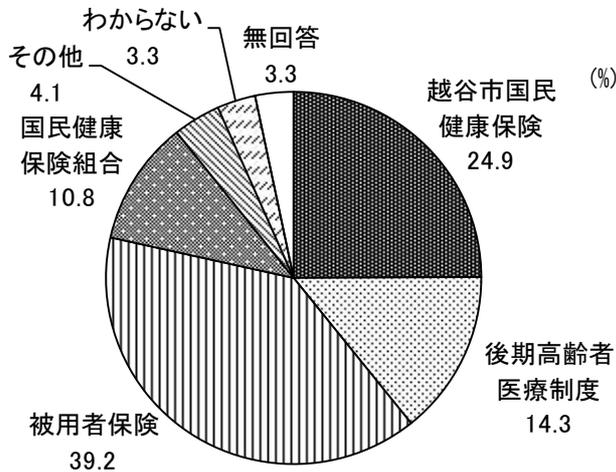


図 7-2 健康診査受診の有無 (n=963)

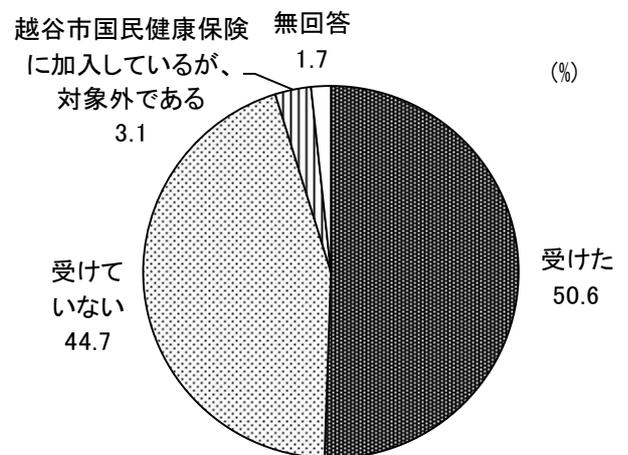


図 7-3 健康診査を受けない理由 (n=430)

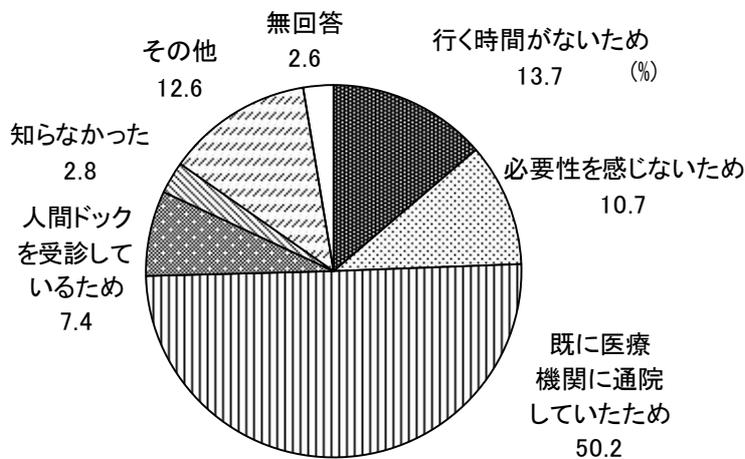
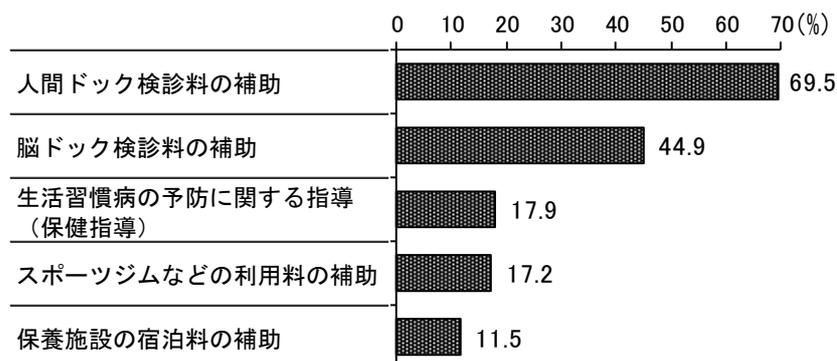


図 7-4 必要と思う医療保険が行う保健事業 (n=2,457)



8. 人権全般に関する意識について

- 今の日本社会における基本的人権の意識は『尊重されている』（「十分尊重されている」＋「やや尊重されている」）が6割半ば。
- 10年前と比べた人権意識の変化は『高くなっている』（「非常に高くなっている」＋「やや高くなっている」）が4割半ば。
- 関心のある人権問題は「子どもの人権問題」が4割強で最も多い。
- 日常生活の中で人権が侵害されたと感じたことがあるかは「ある」が約2割。
- 人権侵害を感じた内容は「あらぬ噂を立てられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が5割弱で最も多い。

図 8-1 基本的人権の意識 (n=2, 457)

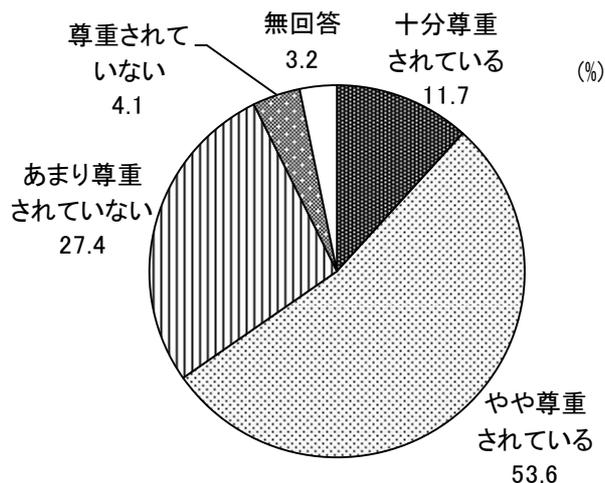


図 8-2 人権意識の変化 (n=2, 457)

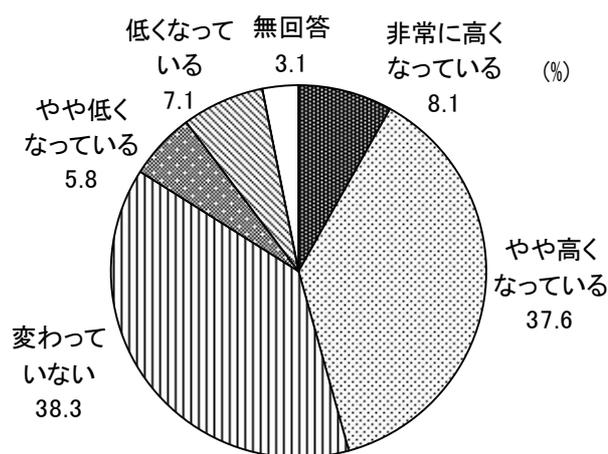


図 8-3 関心のある人権問題 (上位 5 位) (n=2, 457)

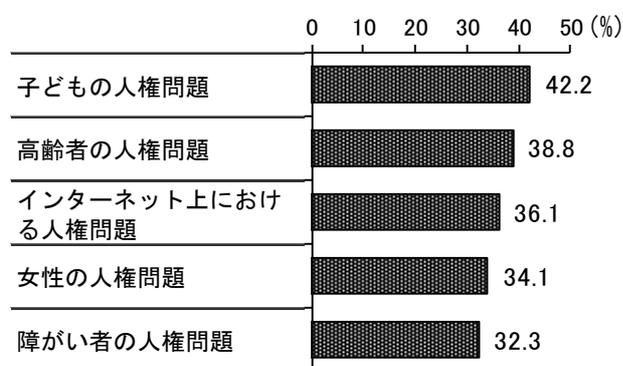


図 8-4 人権侵害を感じたこと (n=2, 457)

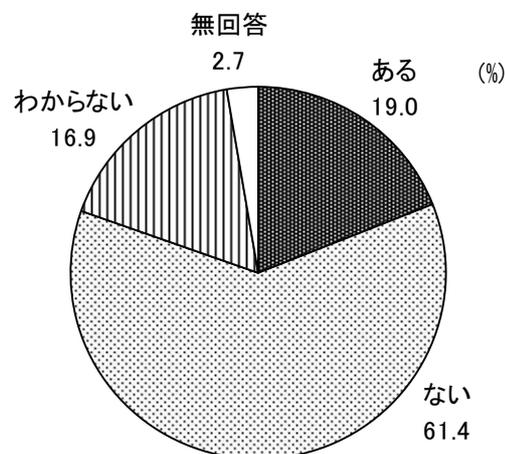
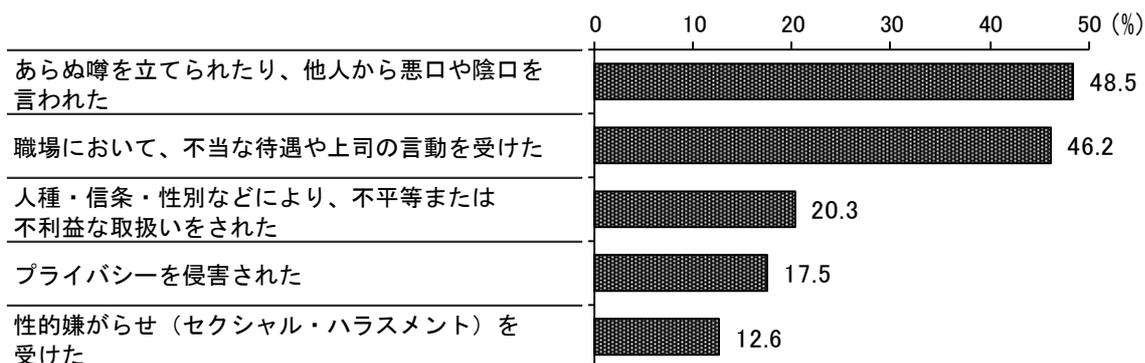


図 8-5 人権侵害を感じた内容 (上位 5 位) (n=468)



9. 男女共同参画について

- 男女共同参画における「ことば」や「ことがら」の認知度について、「内容を知っている」は「DV（ドメスティック・バイオレンス）」が6割強で最も多い。
- 「男は仕事、女は家庭」という考え方は『賛成』（「賛成」+「どちらかといえば賛成」）が2割半ば、『反対』（「どちらかといえば反対」+「反対」）が6割弱。
- 男女共同参画社会推進のために市が力を入れることは「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスを充実すること」が約5割で最も多い。
- 女性の働き方について、理想は「結婚や出産にかかわらず仕事を続ける（ている・ていた）」が3割弱で最も多く、現実は「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける（ている・ていた）」が3割弱で最も多い。
- 仕事をしていく上で、能力に男女差があると思うかは「そうは思わない」が6割弱。

図9-1 「ことば」や「ことがら」の認知度 (n=2,457)

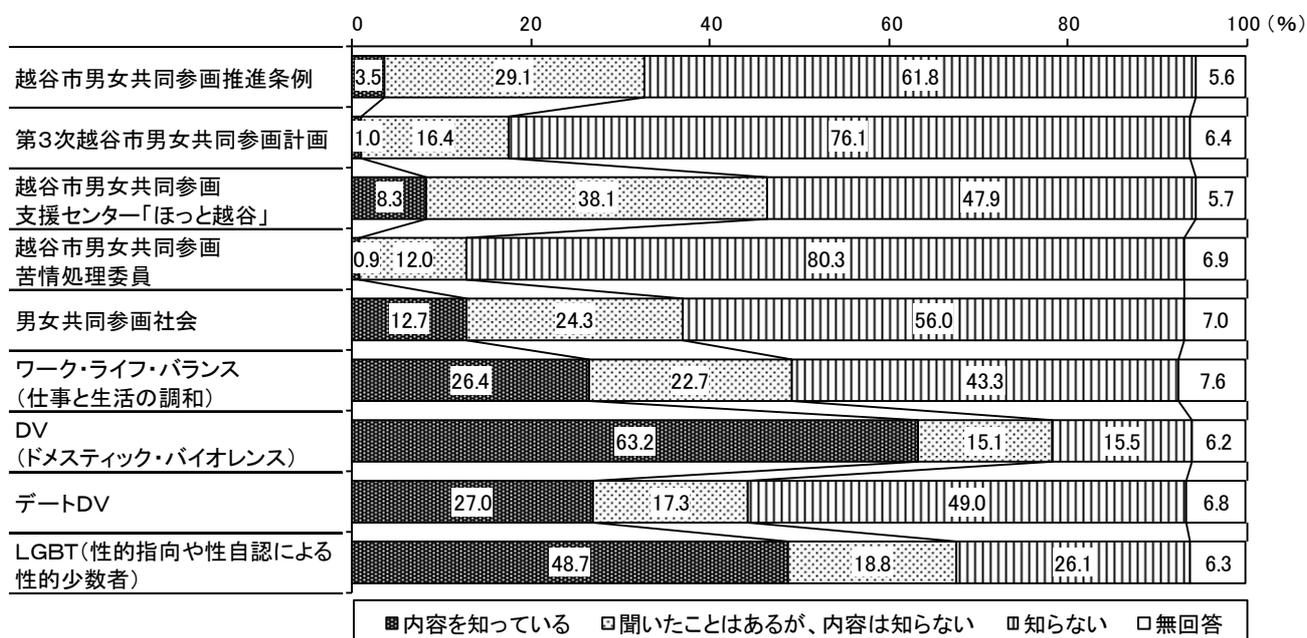


図9-2 「男は仕事、女は家庭」という考え方の賛否 (n=2,457)

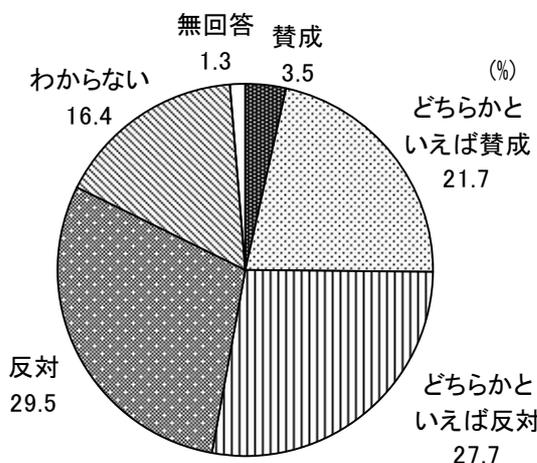


図 9-3 男女共同参画社会推進のために市が力を入れること（上位 5 位）（n=2,457）

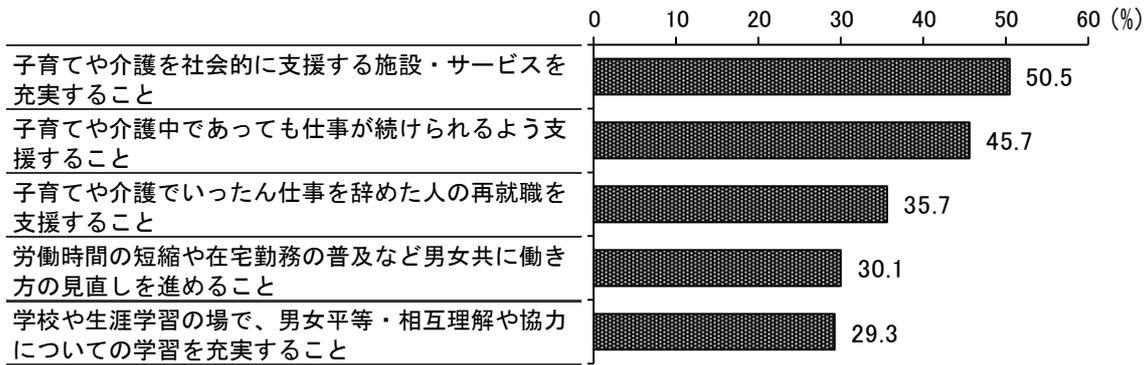
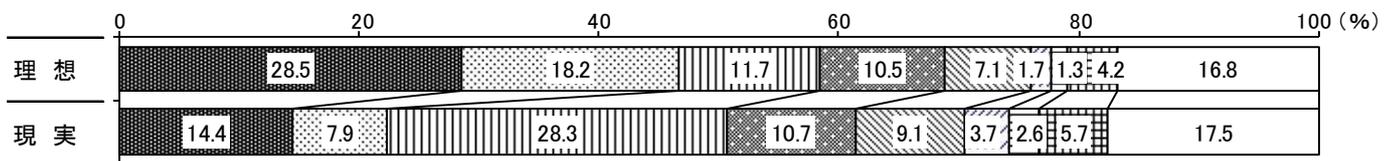
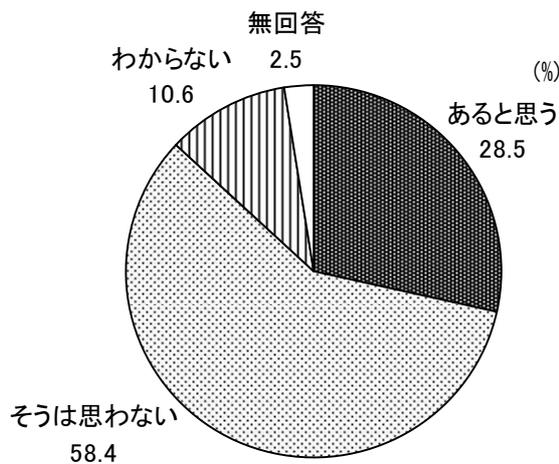


図 9-4 女性の働き方（理想・現実）（n=2,457）



- 結婚や出産にかかわらず仕事を続ける(ている・ていた)
- 子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける(ている・ていた)
- 子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける(ている・ていた)
- 子どもができるまで仕事をもち、子どもができたら家事や子育てに専念する(している・していた)
- 結婚するまで仕事をもち、結婚後は家事に専念する(している・していた)
- 仕事はもたない(もっていない)
- その他
- わからない
- 無回答

図 9-5 仕事上での男女別能力差（n=2,457）



10. 生涯学習活動について

- 生涯学習活動の経験は「経験した」が4割弱。
- 経験した生涯学習活動は「健康・スポーツ（健康・医学・栄養・食育・ジョギング・水泳など）」が約6割で最も多い。
- 生涯学習活動を生かしているかは「生かしている」が約4割。
- 生涯学習活動を生かしている分野は「文化・スポーツ活動」が5割強で最も多い。
- 開催してほしい講座・教室は「健康・スポーツ（健康・医学・栄養・食育・ジョギング・水泳など）」が4割半ばで最も多い。

図 10-1 生涯学習活動の経験 (n=2,457)

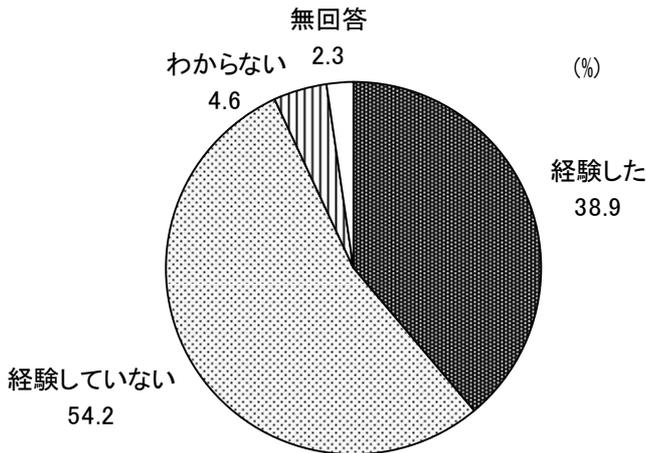


図 10-2 経験した生涯学習活動 (上位 5 位) (n=957)

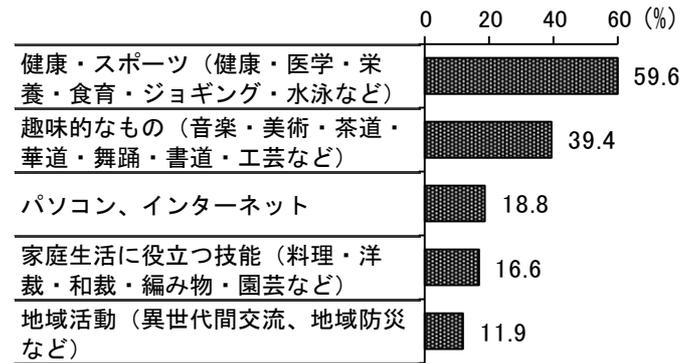


図 10-3 生涯学習活動を生かしているか (n=957)

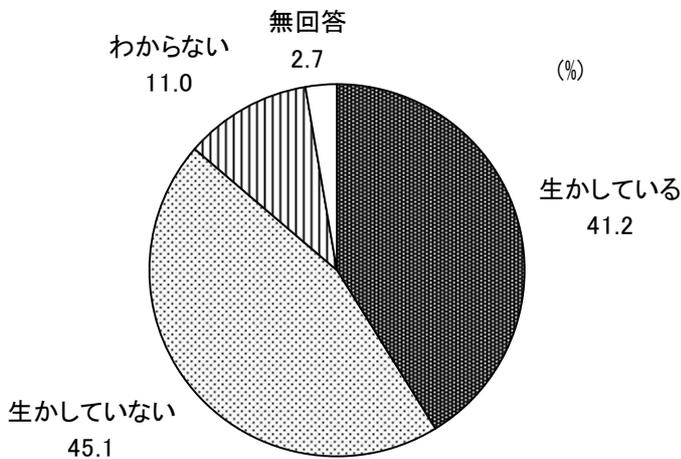


図 10-4 生涯学習活動を生かしている分野 (上位 5 位) (n=394)

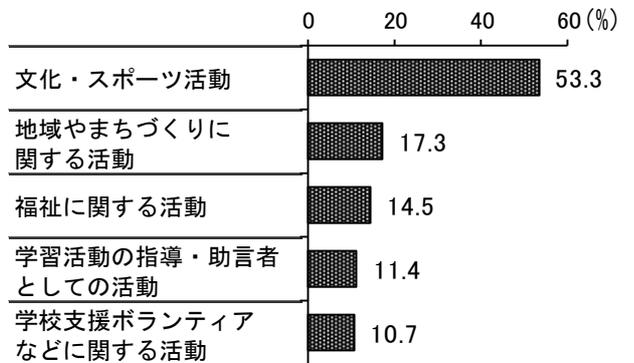
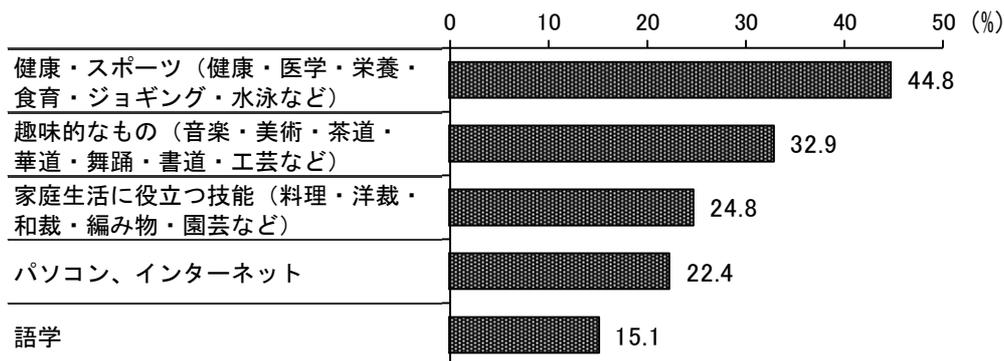


図 10-5 開催してほしい講座・教室 (上位 5 位) (n=2,457)



11. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況は『週1回以上』が4割強。
- 活動を行った主な理由は「運動不足解消」が6割強で最も多い。
- 活動の効果は「運動不足が解消した」が5割弱で最も多い。
- 活動を行っていない理由は「仕事（家事、育児も含む）や勉強が忙しいから」が4割強で最も多い。
- 今後、行ってみたい活動内容は比較的軽いスポーツが「ウォーキング」、野外活動が「ハイキング」、競技的スポーツが「テニス」で最も多い。

図 11-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況 (n=2,457)

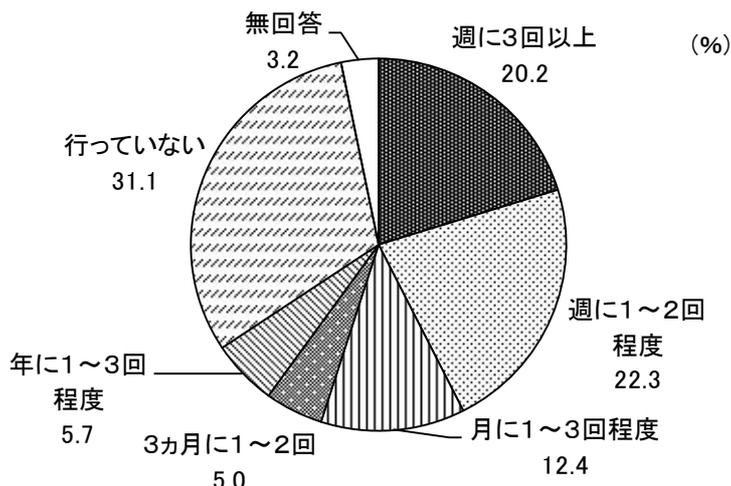


図 11-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由 (上位5位) (n=1,614)

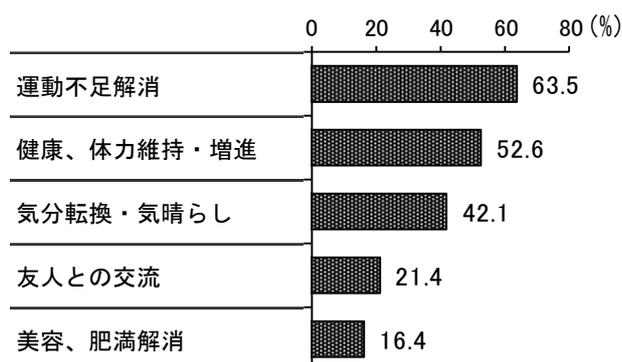


図 11-3 スポーツ・レクリエーション活動の効果 (上位5位) (n=1,046)

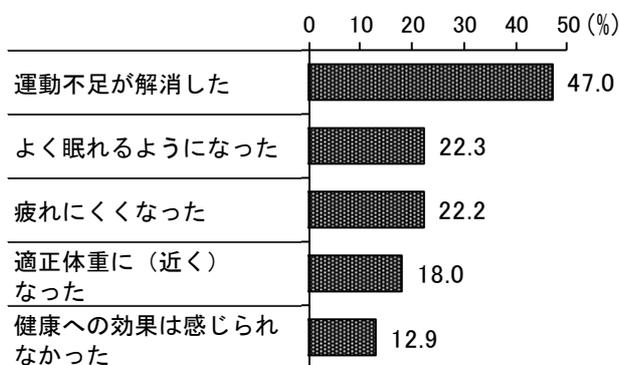


図 11-4 スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由 (上位5位) (n=765)

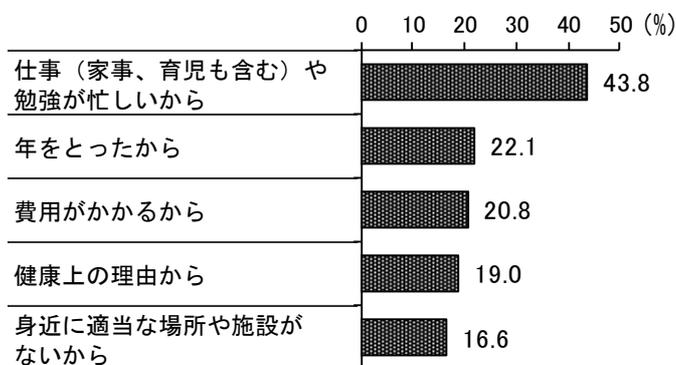
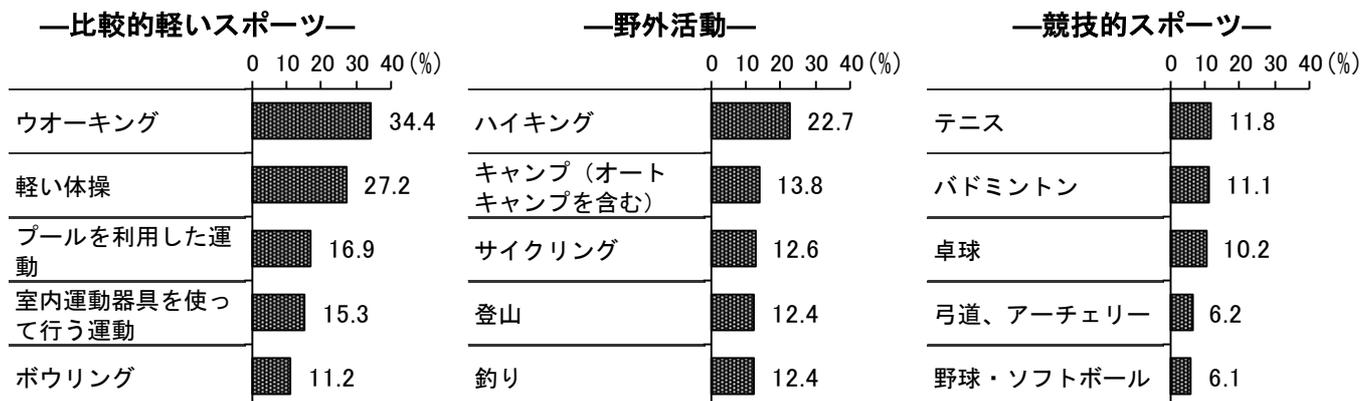


図 11-5 今後、行ってみたいスポーツ・レクリエーション活動 (上位5位) (n=2,457)



12. 観光農園について

- 越谷市内の観光農園の利用の有無は『利用したことがある』（「この1年以内に利用したことがある」＋「1年以上前に利用したことがある」）が約2割。
- 越谷市内の観光農園を紹介したいかは「紹介したい」が8割強。
- 越谷市が特に力を入れていると思う農業特産物は「イチゴ」が約5割で最も多く、贈りたい農業特産物は「イチゴ」が4割半ばで最も多い。

図 12-1 越谷市内の観光農園の利用の有無 (n=2,457)

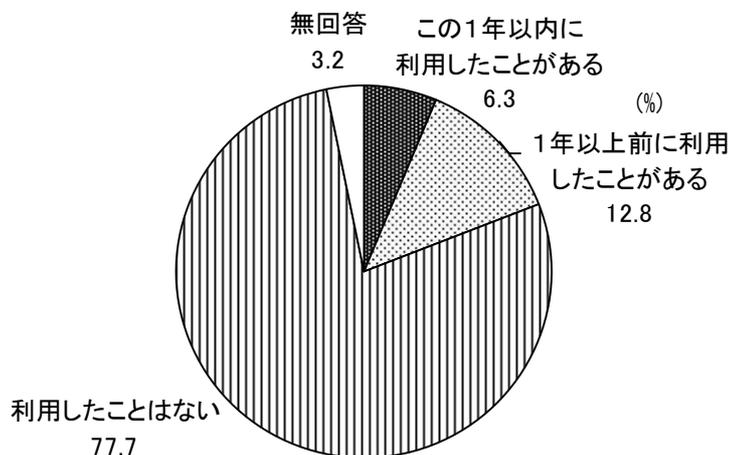


図 12-2 越谷市内の観光農園を紹介したいか (n=470)

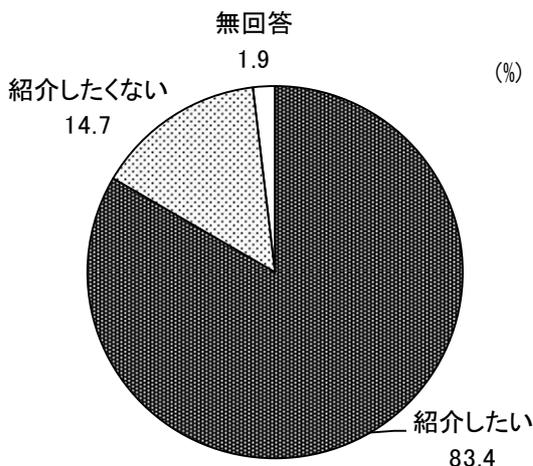
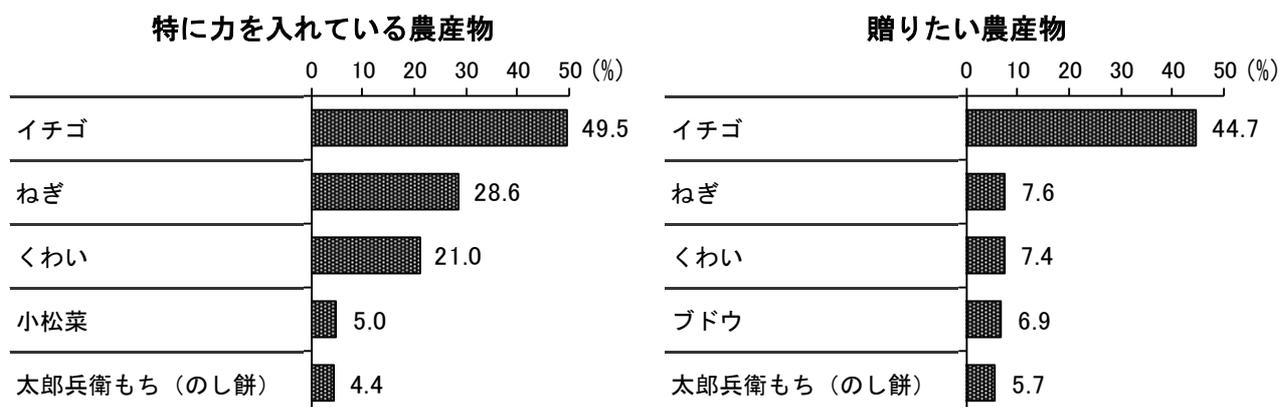


図 12-3 越谷市が特に力を入れている農業特産物、贈りたい農業特産物 (上位5位) (n=2,457)



13. 自治基本条例について

- 「市民参加と協働のまちづくり」の認知度は『知っている』（「よく知っている」+「まあまあ知っている」）が約1割。
- 「市民参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけは「広報こしがや」が8割半ばで最も多い。
- 「越谷市自治基本条例」の認知度は『知っている』（「よく知っている」+「まあまあ知っている」）が約5%。
- 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけは「広報こしがや」が8割半ばで最も多い。
- 効果的な普及・啓発方法は「広報こしがやへの情報掲載」が5割半ばで最も多い。

図 13-1 「市民参加と協働のまちづくり」の認知度 (n=2,457)

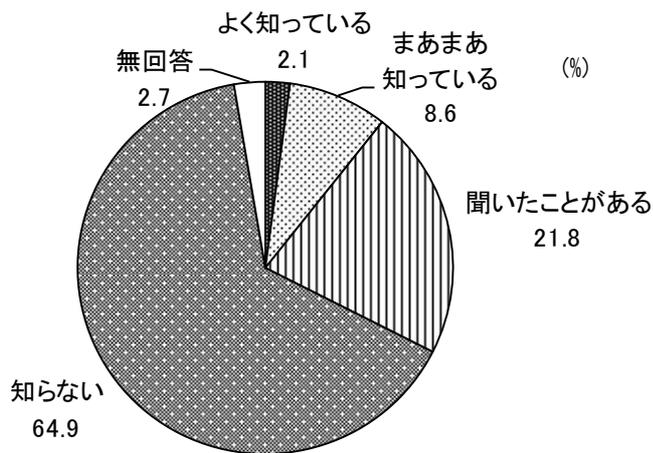


図 13-2 「市民参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけ (上位5位) (n=797)

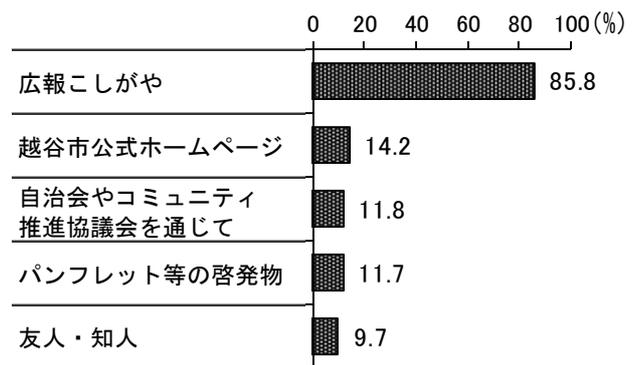


図 13-1 「越谷市自治基本条例」の認知度 (n=2,457)

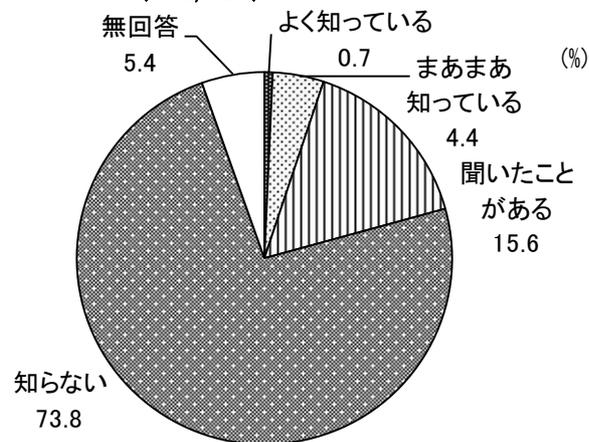


図 13-2 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけ (上位5位) (n=511)

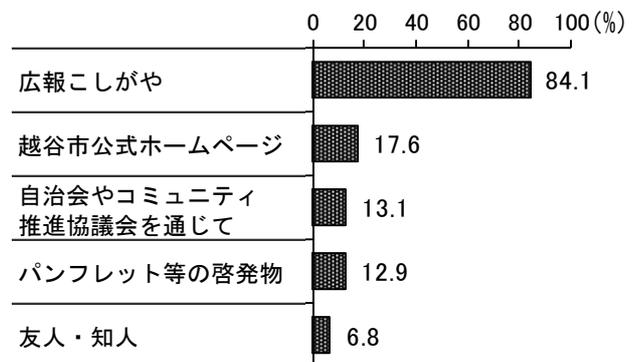
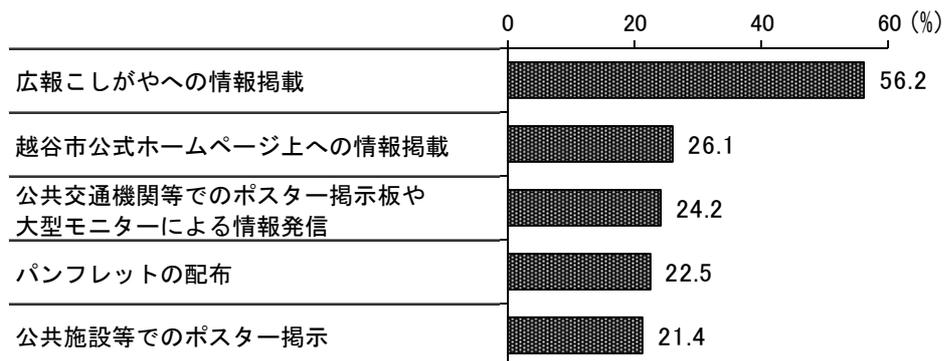


図 13-5 効果的な普及・啓発方法 (上位5位) (n=2,457)



14. 成人式について

- 成人式開催の是非は「開催した方がよい」が約7割。
- 開催した方がよい理由は「人生の節目（区切り、けじめ）だから」が最も多く、開催する必要はない理由は「税金や時間の無駄だと思うから」が最も多い。
- 成人式の対象年齢についての考えは「20歳を対象」が4割半ば、「18歳を対象」が2割半ば。
- 20歳を対象としたほうがよい理由は「18歳はまだ子ども（幼い、未熟）だから」が最も多く、18歳を対象としたほうがよい理由は「法律（民法改正）に従えばよいと思うから」が最も多い。

図 14-1 成人式開催の是非 (n=2,457)

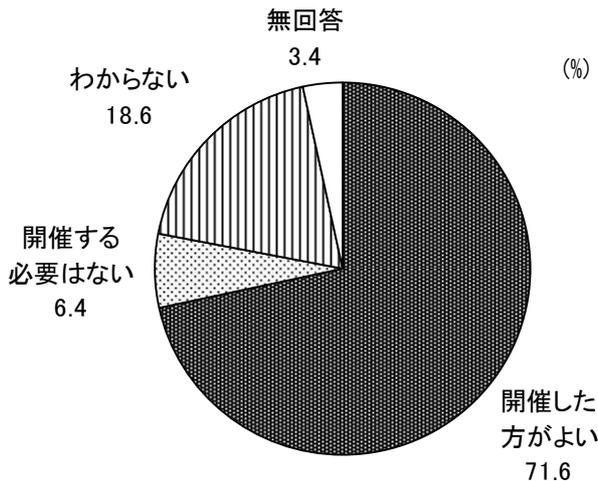


図 14-3 成人式の対象年齢についての考え (n=2,457)

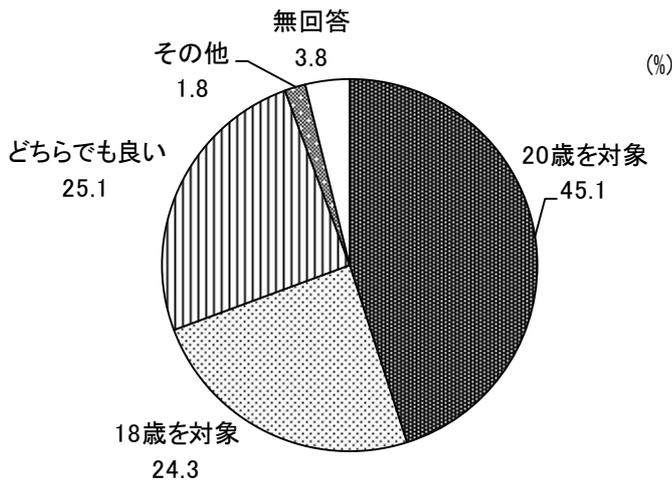


図 14-2 成人式開催の是非の理由 (上位5位) (n=2,457)

成人式は「開催した方がよい」

内容	意見数
人生の節目（区切り、けじめ）だから	239
友だちとの再会の場、同窓会だから	200
大人としての自覚、認識、責任感を持たせる機会だから	198
思い出になるから	114
一生に一度のことだから	89

成人式は「開催する必要はない」

内容	意見数
税金や時間の無駄だと思うから	23
形式的なものとなっているから	16
開催する意味や必要性を感じないから	14
自治体主催ではなく個人や家庭で祝えばよいと思うから	14
参加態度がよくない人がいるから、式が荒れるから	9

図 14-4 成人式の対象年齢についての考えの理由 (上位5位) (n=2,457)

20歳を対象

内容	意見数
18歳はまだ子ども（幼い、未熟）だから	144
今まで通りでよい、変更する必要はないと思うから	125
18歳は受験で忙しい時期だから	116
飲酒や喫煙は20歳からだから	83
18歳はまだ高校生だから	62

18歳を対象

内容	意見数
法律（民法改正）に従えばよいと思うから	219
早く成人を自覚させたり、自立させたほうがよいと思うから	132
18歳は十分大人だと思うから	37
法律に合わせたほうがわかりやすいから	21
既に社会人になっている人もいるから	20

15. 広報について

- 市政情報を主に得ているものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が6割強で最も多い。
- 市政情報を得るために活用したことがあるものは「広報こしがや『お知らせ版』や『季刊版』」が7割弱で最も多い。
- 広報こしがやの感想は『わかりやすい』（「わかりやすい」+「おおむねわかりやすい」）が「お知らせ版」で7割強、「季刊版」で約7割。
- 広報こしがやでわかりにくい点は「お知らせ版」は「項目別にするとわかりやすい、記事の配置が読みづらい」、「季刊版」は「文字が小さい」「ごちゃごちゃして読みにくい、情報を詰め込みすぎ、記事の配置が読みづらい」など。

図 15-1 市政情報を得ているもの
(上位 5 位) (n=2, 457)

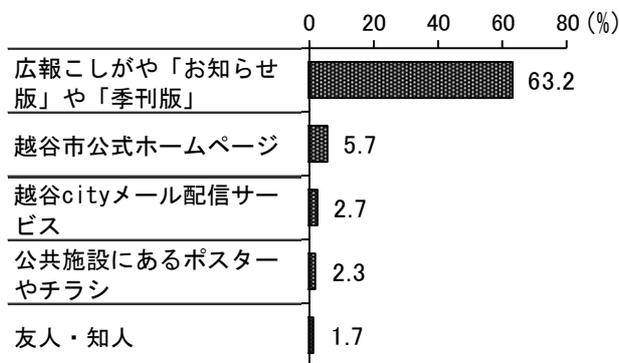


図 15-2 市政情報を得るために活用したことがあるもの
(上位 5 位) (n=2, 457)

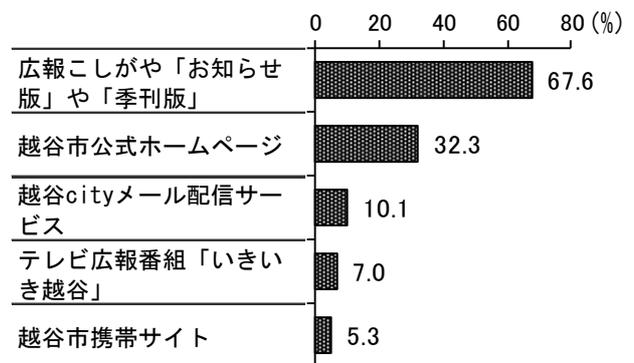


図 15-3 広報こしがや「お知らせ版」「季刊版」の感想 (n=1, 661)

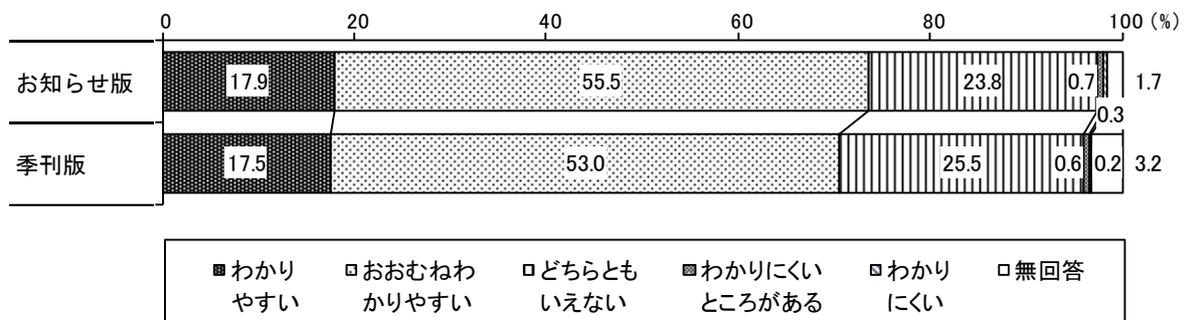


図 15-4 広報こしがや「お知らせ版」の
わかりにくい点 (n=16)

内容	意見数
項目別にするとわかりやすい、記事の配置が読みづらい	3
文字が小さい	2
探している情報が見つからない、わかりにくい	2
活字が多い、細かくごちゃごちゃ書かれている	2
行政用語が多い	1
その他	3

図 15-5 広報こしがや「季刊版」の
わかりにくい点 (n=14)

内容	意見数
文字が小さい	3
ごちゃごちゃして読みにくい、情報を詰め込みすぎ、記事の配置が読みづらい	3
活字、文字が多い	2
印象に残らない	1
その他	3

16. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は「駅周辺の整備」が3割で最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は「防犯対策」が3割弱で最も多い。

図 16-1 よくなってきたと感じるもの
(上位 10 位) (n=2,457)

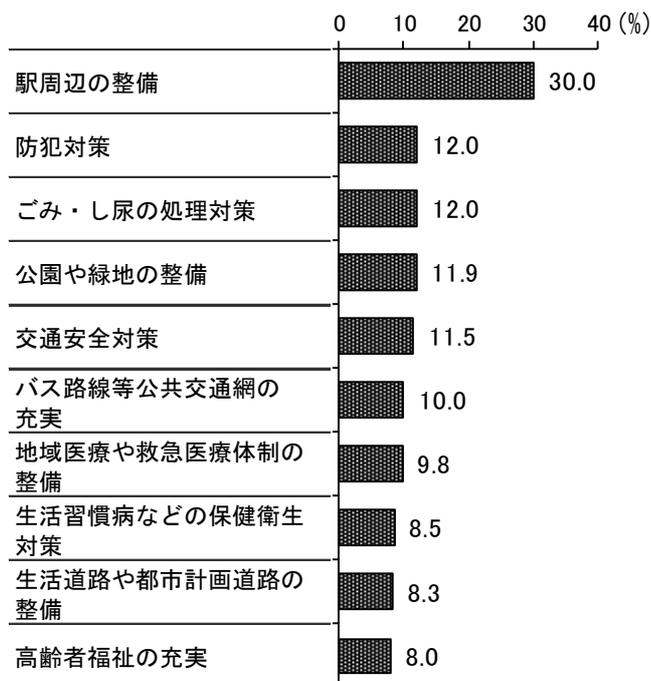
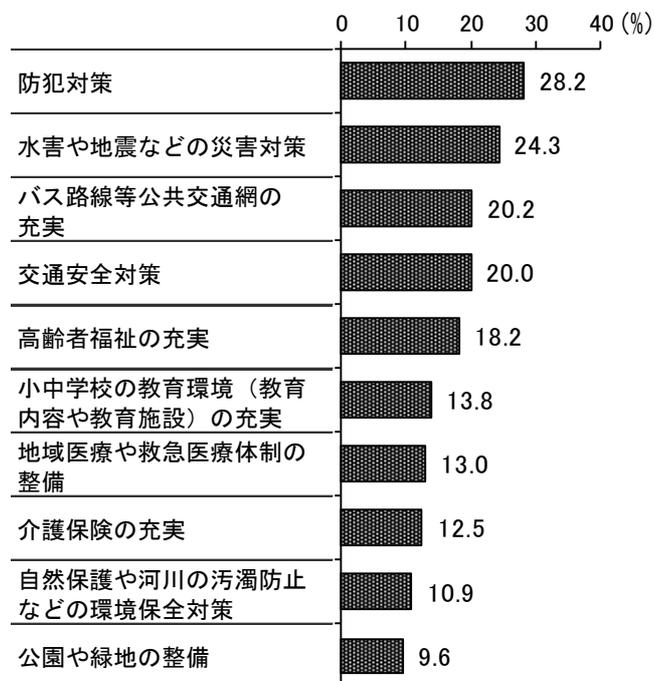


図 16-2 特に力を入れるべきだと思われるもの
(上位 10 位) (n=2,457)



令和元年度 市政世論調査報告書 概要版

令和元年 1 1 月

発行：越谷市 市長公室 広報広聴課

〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目 2 番 1 号

電話 048-963-9117 (直通)
